

年頭のあいさつ

市民が主役のまちづくり

域齢者・障がい者にやさしい地



下妻市長
菊池 博

あけましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市長に就任以来、市政のかじ取りという重責を全身に感じつつ、日々執務に当たっておりますが、おかげをもちまして、市長として初めての新春を迎えることができました。本年も市民の皆さまの熱い期待に応えるため、市政運営に全力を尽くしてまいります。

現在、本市では、第6次下妻市総合計画に基づき、本市が目指す将来像の実現に向けてまちづくりを進めおり、さらに、私の市長就任後においては、5つの基本的な政策を掲げ、各種施策を展開しております。

県内男性最高齢者 109歳 いいだとりのすけ 飯田 酉之助さん(原)



県内男性最高齢者。明治42年12月25日生まれ、尋常小学校高等科卒業後、東京・浅草で親戚が経営する紳士服の仕立屋に住み込み、修行。昭和7年に旧石下町の中心地に「飯田洋服店」を開業。仕立職人を生業とする。

今もなお、心のこもった仕立職人としての業で家族の衣類などをアイロンかけするのが日課。植物が好きで、自ら撮影した花の写真を自室に飾る。娘夫婦らと5人暮らし。

今月号では、県内男性最高齢者の飯田さんとその家族に、日々の生活、健康の秘訣や今年の楽しみなどを語ってもらいました。

いつも健康でにこやかですが、普段はどんなことをして過ごされていますか

規則正しい生活を送っています。まず、朝に新聞を読みます。それから家族で朝食を食べます。(定番は卵かけごはん、大根おろし、小魚など)少し休んで、外仕事をします。主に家や畠の草取りなどをします。これが運動になっているのだと思います。あらためて運動をするのではなく、家の仕事が自然と運動になっています。家の周りにはなり物がいっぱいあります。今はミカンですが、キンカン、柚子、梅、ブドウなどが1年を通してたくさんあります。その手入れや収穫が楽しみです。それから、植物が好きなので、植物の世話をするのが日課になっています。カトレア、シンビジュム、胡蝶蘭などを育てています。花が咲いたときは格別な思いです。

109歳と聞いて驚くほどの若々しさですが、健康の秘訣を教えてください

これだというものはありませんが、規則正しい生活をしているのがいいのかと思います。幸いに大きな病気はありません。これには長寿の家系であることが大きいと思います。それから、毎日、家の周りや畠などの草を取ったり、掃除をしたりして体を動かすことです。運動することが大事です。そして、食事をして動くことも良いのだと思います。食事は家族がとても良くしてくれるので助かります。人間は食べなければ生きていけません。

とても健康的で活動的な生活ですが、今年の楽しみは何ですか

明治、大正、昭和、平成を振り返ると、戦争や災害など大変なことがたくさんありました。それを思うと今は良い時代だと思います。毎朝、植物たちがどうなっているかと思いながら起きるのが楽しみです。特にカトレアの花はきれいなので、ぱッと咲くのが楽しみです。今年は数年ぶりに孫が住む四国に出かける予定で楽しみにしています。先のことになりますが、来年の東京オリンピックも楽しみで、いろいろな競技を見てみたいです。

ご家族からひとこと

毎日規則正しい生活を送り、身のまわりのことを何でも1人でこなし、好奇心旺盛で、家族のために洗濯物のアイロンかけをやるところ、すごく尊敬します。今も社会に関心を持って、新聞を読んでいたり、知らないことは調べたり、すごく頭が良いです。おかげさまで、自分たちも規則正しい生活を送っています。これからも元気で、私たちや周りの方を笑顔にし続けてください。

行財政改革の推進

今後厳しさが予想される財政状況の中、効率的な事務の執行に努め、民間活力の導入などを視野に入れ事業手法の見直しを行ってまいります。また、ライフスタイルの変化に対応した市民サービスを可能とす

るに当たり、まずは多くの市民の皆さまの声を聞くため、地域のさまざまに市長が出向いて行う「どこでも市長室」を随時開催しております。また、夏休みに小学生との保護者を市役所に招いての企画「市長に会いにいこう」も実施いたしました。これは、子どもたちや子育て世代に、分かりにくい行政のしくみや仕事を知つていただくための試みであります。

元気な下妻づくり

元気な下妻づくりでは、砂沼やその周辺施設を地域資源として有効に活用することはもちろん、従来の観光・交流人口を一步進めて、ふるさと納税などのつながりを含む「関係人口」の増加を図ります。また、新たな取り組みとしてスポーツを活用したまちなかのにぎわいづくりにチャレンジをするほか、産業の振興では、梨・米・メロンなど農産品の海外輸出や6次産業化を支援するなど、本市農・商・工の発展に努力いたします。

子育て・教育環境の向上と高

るため、窓口業務の拡充や将来の新庁舎に適応した行政組織のあり方の検討を開始いたしました。さらに、次の世代にツケを回さないよう財政の健全化に取り組む一方、「選択と集中」により、高い効果が見込まれる施策には優先的な予算付けを行ってまいります。

このように、本市では、市政の各分

結んでいる自治体・各種団体との連携をさらに深めてまいります。

安全で安心なまちづくり

大阪府北部地震では、ブロック塀の倒壊による痛ましい事故が発生いたしました。これを受け、本市では、直ちに転倒・倒壊の危険性がある公共施設のプロック塀を調査し、既に撤去が完了しております。また、老朽化が進んだ防災行政無線の更新とデジタル化に着手するとともに、国、県などの関係機関や災害時の応援協定を

域づくり

域齢者・障がい者にやさしい地

いわゆる小児マル福については、18歳の入院・外来までを対象とする制度の拡充を行いました。また、「命の危険がある暑さ」「つの災害と認識している」と気象庁が伝えた昨年夏の猛暑を受け、速やかに小学校の普通教室に空調設備を設置し、市立小中学校への設置を全部完了いたしました。これは、子どもたちや子育て世代に、分かりにくい行政のしくみや仕事を知つていただくための試みであります。

市長に就任以来、市政のかじ取りという重責を全身に感じつつ、日々執務に当たっておりますが、おかげをもちまして、市長として初めての新春を迎えることができました。本年も市民の皆さまの熱い期待に応えるため、市政運営に全力を尽くしてまいります。

現在、本市では、第6次下妻市総合計画に基づき、本市が目指す将来像の実現に向けてまちづくりを進めおり、さらに、私の市長就任後においては、5つの基本的な政策を掲げ、各種施策を展開しております。

結んでいる自治体・各種団体との連携をさらに深めてまいります。

今後厳しさが予想される財政状況の中、効率的な事務の執行に努め、民間活力の導入などを視野に入れ事業手法の見直しを行ってまいります。また、ライフスタイルの変化に対応した市民サービスを可能とす

るに当たり、まずは多くの市民の皆さまの声を聞くため、地域のさまざまに市長が出向いて行う「どこでも市長室」を随時開催しております。また、夏休みに小学生との保護者を市役所に招いての企画「市長に会いにいこう」も実施いたしました。これは、子どもたちや子育て世代に、分かりにくい行政のしくみや仕事を知つていただくための試みであります。

このように、本市では、市政の各分

結んでいる自治体・各種団体との連携をさらに深めてまいります。

今後厳しさが予想される財政状況の中、効率的な事務の執行に努め、民間活力の導入などを視野に入れ事業手法の見直しを行ってまいります。また、ライフスタイルの変化に対応した市民サービスを可能とす

るに当たり、まずは多くの市民の皆さまの声を聞くため、地域のさまざまに市長が出向いて行う「どこでも市長室」を随時開催しております。また、夏休みに小学生との保護者を市役所に招いての企画「市長に会いにいこう」も実施いたしました。これは、子どもたちや子育て世代に、分かりにくい行政のしくみや仕事を知つていただくための試みであります。

このように、本市では、市政の各分